

		<i>S. typhimurium</i> (TA1535 株)	1,000~8,000 µg/プレート (+/-S9)	陰性
	遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79)	156~5,000 µg/mL (+/-S9)	陰性
			125~2,500 µg/mL (-S9) 156~2,500 µg/mL (+S9)	陰性
	マウスリンパ腫細胞 (L5178Y)	300~2,500 µg/mL (-S9) 600~2,500 µg/mL (+S9)	陽性	
		染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞 (CHL)	156~1,250 µg/mL (-S9) 938~1,880 µg/mL (+S9)
		チャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79)	750~2,000 µg/mL (-S9) 500~1,000 µg/mL (+S9)	陽性 (-S9) 陰性 (+S9)
			<i>in vivo/in vitro</i>	不定期 DNA 合成試験
		Wistar ラット雄 3 匹	1,000、2,000mg/kg 体重 (単回強制経口投与)	陰性
<i>in vivo</i>	小核試験	ICR マウス雌雄 5 匹	25、50、100 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)	陰性
		NMRI マウス雌雄 5 匹	50、100、200 mg/kg 体重 (単回腹腔投与)	陰性

注) ±S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

TZNG、TZMU、TMG、MG、MAI、ATMG・Pyr、ATG・Ac の細菌を用いた復帰突然変異試験において、試験結果はすべてすべて陰性であった (表 41)。(参照 52~56)

表 41 遺伝毒性試験結果概要 (代謝分解物)

試験		被験物質	対象	投与量・処理濃度	結果
<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	TZNG	<i>S. typhimurium</i> (TA98, TA100, TA102, TA1535, TA1537 株)	8~5,000 µg/7° レート (+/-S9)	陰性
		TZMU		8~5,000 µg/7° レート (+/-S9)	陰性
		TMG		8~5,000 µg/7° レート (+/-S9)	陰性
		MG		8~5,000 µg/7° レート (+/-S9)	陰性
		MAI		8~5,000 µg/7° レート (+/-S9)	陰性
		ATMG-Pyr		1.6~5,000µg/7° レート (+/-S9)	陰性
		ATG-Ac		1.6~5,000µg/7° レート (+/-S9)	陰性

注) +/-S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

1.4. その他の試験

(1) 28日間亜急性毒性/免疫毒性試験 (ラット)

SD ラット (一群雌雄各 10 匹) にクロチアニジンを 28 日間混餌 (原体 : 0、150、500 及び 3,000 ppm : 平均検体摂取量は表 42 参照) 投与し、T 細胞依存性抗原であるヒツジ赤血球に対する脾臓 IgM 抗体産生細胞反応を陽性対照であるシクロホスファミドの効果と比較する、亜急性毒性/免疫毒性試験が実施された。

表 42 亜急性毒性/免疫毒性試験 (ラット) の平均検体摂取量

投与量 (ppm)		150 ppm	500 ppm	3,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	13.8	45.8	253
	雌	14.0	46.2	253

本試験の最高用量である 3,000 ppm 投与群においても、T リンパ球依存性反応に影響は認められなかった。

3,000 ppm 雌雄で摂餌量減少、雄ではこれに加え体重増加抑制等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 500 ppm (雄 : 45.8 mg/kg 体重/日、雌 46.2 mg/kg 体重/日) であると考えられた。免疫毒性は認められなかった。(参照 81)

(2) 発達免疫毒性試験 (ラット)

SD ラット (1 群雌 25 匹) の妊娠 6 日~哺育 21 日あるいは妊娠 6~24 日 (分娩が認められなかった動物) の母動物に、クロチアニジンを混餌 (原体 : 0、150、

500 及び 2,000 ppm : 平均検体摂取量は表 43 参照) 投与し、T 細胞依存性抗原であるヒツジ赤血球に対する脾臓 IgM 抗体産生細胞反応 (AFC 反応) 又は遅延型過敏反応 (DTH 反応) を陽性対照であるシクロホスファミドの効果と比較する、発達免疫毒性試験が実施された。

表 43 発達免疫毒性試験 (ラット) の平均検体摂取量

投与量 (ppm)				150 ppm	500 ppm	2,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	母動物	妊娠	6-20 日	10.4	35.0	121
			哺育	0-13 日	22.3	68.3
		13-16 日		30.6	92.4	367
		16-21 日		35.6	107	396
	児動物	AFC 反応	雄	27.5	97.9	404
			雌	26.4	92.9	404
		DTH 反応	雄	28.2	88.9	338
			雌	26.8	92.6	398

各投与群で認められた毒性所見は表 44 に示されている。

T 細胞依存性抗原であるヒツジ赤血球に対する脾臓 IgM 抗体産生細胞反応 (AFC) において、2000ppm 群の雌雄で脾臓及び胸腺絶対重量の約 20% の減少が認められたが、約 20% の体重増加抑制に起因するものと考えられた。また同群の雌雄では約 20% の脾臓細胞数の減少、雄で AFC 比活性及び AFC 総活性の増加が認められたが、これらについても免疫毒性を示唆するものではなく、同群で観察された体重増加抑制に伴う脾臓及び胸腺の絶対重量低下に関連した変化であると考えられた。

遅延性過敏反応アッセイでは投与による変化は認められなかった。

本試験において、母動物で 2,000 ppm 投与群で摂餌量減少等が認められ、500 ppm 以上投与群の離乳後児動物の雄で体重増加抑制が認められたので、一般毒性の無毒性量は母動物で 500 ppm (妊娠 6-20 日 ; 35.0 mg/kg 体重/日、哺育 0-13 日 ; 68.3 mg/kg 体重/日、13-16 日 ; 92.4 mg/kg 体重/日、16-21 日 ; 107 mg/kg 体重/日)、離乳後児動物で 150 ppm (AFC 反応群 : 雄 ; 27.5、雌 ; 26.4 mg/kg 体重/日、DTH 反応群 : 雄 ; 28.2 mg/kg 体重/日、雌 26.8 mg/kg 体重/日) であると考えられた。

次世代への免疫毒性は認められなかった。(参照 82)

表 44 発達免疫毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	母動物	児動物		
		哺育中	離乳後	
			雄	雌
2,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> ・体重増加抑制 ・眼瞼下垂発生頻度増加 ・摂餌量減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・低体重 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂餌量減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・体重増加抑制 ・摂餌量減少
500 ppm 以上 150 ppm	500 ppm 以下 毒性所見なし	500 ppm 以下 毒性所見なし	<ul style="list-style-type: none"> ・体重増加抑制（離乳後 1 日） 毒性所見なし	500 ppm 以下 毒性所見なし

Ⅲ. 食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて農薬「クロチアニジン」の食品健康影響評価を実施した。なお、今回動物体内運命試験（ラット、マウス等）、植物体内運命試験（りんご、てんさい等）、及び作物残留試験（さやいんげん、さやえんどう等）等が新たに提出された。

¹⁴C で標識したクロチアニジンのラット、マウス、ヤギ及びニワトリを用いた動物体内運命試験の結果、クロチアニジンは経口投与後速やかに吸収され、ラット及びマウスでの吸収率は少なくとも 90%であった。ラット、マウス及びヤギともに主要排泄経路は尿中であり、投与後 24 時間以内に投与量の大部分が排泄され、組織への残留性は認められなかった。ラット及びマウスの尿中では親化合物が最も多く、主要代謝物として TZNG、MNG 及び MTCA が検出された。ヤギ及びニワトリでは、ラット及びマウスで検出されない代謝物として ATMG-Pyr 及び ATG-Ac が 10%TRR を超えて認められた。

¹⁴C で標識したクロチアニジンの植物体内運命試験の結果、いずれの植物においても残留放射能の主要成分は親化合物であった。10%TRR を超える代謝物として、可食部で TZMU、MG、MNG、TZNG が、非食部位（稲わら、籾殻など）で TZMU、TMG、MG が検出された。水稻、野菜、果実、豆類及び茶を用いて、クロチアニジン、TZNG、TZMU、MNG、TMG を分析対象化合物とした作物残留試験が実施され、クロチアニジンの最高値は、最終散布 7 日後に収穫した茶（荒茶）の 38.0 mg/kg であった。TZNG、TZMU、MNG、TMG の最高値も、すべて茶であり、それぞれ 0.167 mg/kg、1.21 mg/kg、0.44 mg/kg、0.70 mg/kg であった。

畜産動物（乳牛）を用いてクロチアニジン、代謝物 TZG、TZU 及び ATMG-Pyr を分析対象化合物とした畜産物残留試験が実施された結果、クロチアニジンは乳汁で 0.012 mg/kg 検出された。代謝物はすべて定量限界以下であった。

各種毒性試験結果から、クロチアニジン投与による影響は主に体重（増加抑制）に認められた。神経毒性、免疫毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

各種試験結果から、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をクロチアニジン（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量及び最小毒性量は表 45 に示されている。

表 45 各試験における無毒性量及び最小毒性量

動物種	試験	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 ⁴
ラット	90 日間亜急性 毒性試験	雄：27.9 雌：34.0	雄：202 雌：254	雌雄：体重増加抑制 雄：脾臓色素沈着等
	90 日間亜急性 神経毒性試験	雄：60.0 雌：71.0	雄：177 雌：200	雌雄：体重増加抑制等 (神経毒性は認められない)
	2 年間慢性毒性 /発がん性併合 毒性試験	雄：27.4 雌：9.7	雄：82.0 雌：32.5	雄：体重増加抑制等 雌：卵巣間質腺過形成 (発がん性は認められない)
	2 世代繁殖試験	親動物及び児動物 P 雄：9.8 P 雌：11.5 F ₁ 雄：10.7 F ₁ 雌：12.2	親動物 P 雄：31.2 P 雌：36.8 F ₁ 雄：34.3 F ₁ 雌：39.0	親動物 雌：体重増加抑制 児動物 雌雄：体重増加抑制等 (繁殖毒性は認められない)
	発生毒性試験	母動物：10 胎児：125	母動物：40 胎児：-	母動物：体重増加抑制 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)
	発達神経毒性 試験	母動物：42.9 (妊娠 中)、90.0 (哺育中) 児動物：12.9 (妊娠 中)、27.3 (哺育中)	母動物：142 (妊娠 中)、299 (哺育中) 児動物：42.9 (妊娠 中)、90.0 (哺育中)	母動物：体重増加抑制等 児動物：体重増加抑制
マウス	18 か月間発がん性試験	雄：47.2 雌：65.1	雄：171 雌：216	雌雄：体重増加抑制等 (発がん性は認められない)
ウサギ	発生毒性試験	母動物：25 胎児：25	母動物：75 胎児：75	母動物：排便減少等 胎児：肺中葉欠損等 (催奇形性は認められない)
イヌ	90 日間亜急性 毒性試験	雄：19.3 雌：21.2	雄：40.9 雌：42.1	雌雄：消瘦等
	1 年間慢性毒 性試験	雄：36.3 雌：15.0	雄：46.4 雌：40.1	雌雄：耳局部紅斑等

-：無毒性量または最小毒性量が設定できなかった。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値がラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 9.7 mg/kg 体重/日であったので、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.097 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量 (ADI) と設

⁴ 備考に最小毒性量で認められた所見の概要を示す。

定した。

ADI	0.097 mg/kg 体重/日
(ADI設定根拠資料)	慢性毒性/発がん性併合試験
(動物種)	ラット
(期間)	2年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	9.7 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

<別紙 1 : 代謝物/分解物略称>

略称	化学名
ACT	5-aminomethyl-2-chlorothiazole
ATG-Ac	<i>N</i> ² [Amino(2-chlorothiazol-5-ylmethylamino)methylene]-acetohydrazide
ATMG-Pyr	<i>N</i> ² [(2-chlorothiazol-5-ylmethylamino)(methylamino)methylene]-2-oxopropanohydrazide
CTNU	<i>N</i> (2-chlorothiazol-5-ylmethyl)- <i>N</i> ² nitrourea
MAI	3-methylamino-1 <i>H</i> -imidazo[1,5- <i>d</i>]imidazole
MG	methylguanidine
MNG	<i>N</i> -methyl- <i>N</i> ² -nitroguanidine
MTCA	2-methylthiothiazole-5-carboxylic acid
NTG	nitroguanidine
TMG	<i>N</i> (2-chlorothiazol-5-ylmethyl)- <i>N</i> ² -methylguanidine
TZMU	<i>N</i> (2-chlorothiazol-5-ylmethyl)- <i>N</i> ² -methylurea
TZNG	<i>N</i> (2-chlorothiazol-5-ylmethyl)- <i>N</i> ² -nitroguanidine
TZU	2-chlorothiazol-5-ylmethylurea

<別紙 2 : 検査値等略称>

略称	名称
ACh	アセチルコリン
ai	有効成分量
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間
AUC	薬物濃度曲線下面積
C _{max}	最高濃度
EROD	エトキシレゾルフィン <i>O</i> -デエチラーゼ
Hb	ヘモグロビン
His	ヒスタミン
Ht	ヘマトクリット値
LC ₅₀	半数致死濃度
LD ₅₀	半数致死量
Lym	リンパ球数
MC	メチルセルロース
MRT	平均滞留時間
<i>N</i> -Demeth	アミノピリン <i>N</i> -デメチラーゼ
Neu	好中球数
<i>O</i> -Demeth	<i>p</i> -ニトロアニソール <i>O</i> -デメチラーゼ
PHI	最終使用から収穫までの日数
PROD	ペントキシレゾルフィン <i>O</i> -デペンチラーゼ
PT	プロトロンビン時間
RBC	赤血球数
TAR	総投与 (処理) 放射能
T _{1/2}	消失半減期
T _{max}	最高濃度到達時間
TP	総蛋白質
TRR	総残留放射能
WBC	白血球数

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)									
					クロロアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
稲 (玄米) 1998年	2	1.25 g ai/箱 ^{a+} 60 ^{SP} ×3	4	13~14	0.124	0.104	0.013	0.010	0.076	0.046	0.014	0.012	0.06	0.02
			4	20~21	0.135	0.109	0.015	0.011	0.062	0.040	0.019	0.012*	0.04	0.02
			-4	27~28	0.095	0.077	0.012	0.008	0.041	0.028	0.011	0.008*	0.01	0.01
稲 (玄米) 1998年	2	1.25 g ai/箱 ^a + 100 ^a ×3	4	13~14	0.027	0.010*	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
			4	20~21	0.022	0.010*	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.02	<0.02	0.06	0.02*
			4	27~28	0.014	0.007*	<0.004	<0.004	<0.005	<0.005	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
稲 (玄米) 1998年	2	1.25 g ai/箱 ^a + 60 ^b ×3	4	13~14	0.051	0.032	<0.004	<0.004	0.015	0.009	<0.009	<0.007	<0.01	<0.01
			4	20~21	0.050	0.028	0.005	0.004*	0.010	0.007	<0.009	<0.007	<0.01	<0.01
			4	27~28	0.046	0.023	0.005	0.004*	0.010	0.006*	<0.009	<0.007	<0.01	<0.01
稲 (玄米) 2001年	2	1.25 g ai/箱 ^a + 200 ^a ×3	4	7	0.02	0.01*								
			4	14	0.02	0.01*								
			4	21~22	<0.01	<0.01								
稲 (玄米) 2002,2003年	13	0.4g ai/箱 ^{SP+} 1.25g ai/箱 ^{a+} 40~60 ^{SP} ×3or 60~67 ^{SC} ×3or 67 ^{SC} ×4or 200 ^a ×3or200 ^b ×3	5~	7	0.55	0.10*								
			6 ^a	14	0.16	0.08*								
				20~21	0.16	0.07*								
				28	0.17	0.06*								
稲 (玄米) 2005年	2	0.75 g ai/箱 ^a 40 ^{SC} ×3	4	14	0.15	0.13								
			4	21	0.18	0.14								
稲 (玄米) 2006年	2	0.75 g ai/箱 ^a 56 ^{SC} ×3	4	7	0.12	0.12								
			4	14	0.10	0.10								
			4	21	0.16	0.16								
稲 (玄米) 2007年	2	0.75 g ai/箱 ^a 56 ^{SC} ×3	4	7	0.10	0.10								
			4	14	0.10	0.10								
			4	21	0.14	0.14								
			4	45	0.06	0.06								
稲 (玄米) 2008年	2	0.75 g ai/箱 ^a 100 ^{SC} ×3	4	7	0.18	0.18								
			4	14	0.25	0.24								
			4	21	0.15	0.14								
			4	42	0.02	0.02								
稲* (玄米) 1998-2002年	2	1.0 g ai/箱 ^a 750 ^a 75 ^{SC}	1	125-146	<0.005	<0.005								
			3	20-21	0.030	0.019								
			3	6-7	0.069	0.045								
			3	13-14	0.079	0.049								
			3	20-21	0.056	0.040								
稲* (玄米) 2007年	2	4.0 g ai/箱 ^a 300 ^a 98 ^{SC} ×2	4	7	0.037	0.031								
			4	14	0.063	0.051								
			4	21	0.054	0.044								
			4	28	0.074	0.072								
稲* (玄米) 2006年	2	4.0g ai/箱 ^a 300 ^a 65 ^{SC} ×2	4	7	0.025	0.024								
			4	14	0.031	0.030								
			4	21	0.054	0.054								
稲* (玄米) 2007年	1	4.0g ai/箱 ^a 300 ^a 65~78 ^{SC} ×2	4	7	0.025	0.024								
			4	14	0.022	0.022								
			4	21	0.039	0.038								
			4	28	0.034	0.034								

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)									
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
稲* (稲わら) 2006年	2	4.0g ai/箱 ^a 300 ^g 65 ^{sc} ×2	4 4 4	7 14 21	0.08	0.08	/	/	/	/	/	/	/	/
					0.06	0.06	/	/	/	/	/	/		
					<0.03	0.03	/	/	/	/	/	/		
稲* (稲わら) 2007年	1	4.0g ai/箱 ^a 300 ^g 65~78 ^{sc} ×2	4 4 4 4	7 14 21 28	<0.02	<0.02	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.02	<0.02	/	/	/	/	/	/		
					<0.02	<0.02	/	/	/	/	/	/		
					<0.02	<0.02	/	/	/	/	/	/		
稲* (稲わら) 2008年	2	4.0g ai/箱 ^a 98 ^{sc} ×2	3 3 3 3 3 3	7 14 21 28 35 42	0.030	0.030	/	/	/	/	/	/	/	/
					0.021	0.021	/	/	/	/	/	/		
					0.020	0.020	/	/	/	/	/	/		
					<0.016	<0.016	/	/	/	/	/	/		
					<0.016	<0.016	/	/	/	/	/	/		
					<0.016	<0.016	/	/	/	/	/	/		
稲* (稲わら) 2008年	2	4.0g ai/箱 ^a 65 ^{sc} ×2	3 3 3 3 3 3	7 14 21 28 35 42	2.85	2.72	/	/	/	/	/	/	/	/
					0.95	0.94	/	/	/	/	/	/		
					0.32	0.31	/	/	/	/	/	/		
					0.16	0.16	/	/	/	/	/	/		
					0.09	0.08	/	/	/	/	/	/		
					0.12	0.12	/	/	/	/	/	/		
とうもろこし * (乾燥子実) 2009年	2	1.8 ^{sc} g ai/kg(種子)	1	126~ 139	<0.004	<0.004	/	/	/	/	/	/	/	
未成熟とうも ろこし (生食用子実) 2005年	2	150-200 ^{sp}	3 3 3	3 7 14	0.01	0.01	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
					0.01	0.01	/	/	/	/	/	/		
未成熟とうも ろこし* (生食用子実) 2004年	2	100-150 ^{so}	2 2 2	7 21 42	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/		
					<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/		
未成熟とうも ろこし* (子実) 2009年	2	1.8 ^{sc} g ai/kg(種子)	1	83~101	<0.004	<0.004	/	/	/	/	/	/	/	
だいず (乾燥子実) 2003年	2	300 ^a + 120 ^{sp} ×3~4	4~ 5 ^a	7 13~14 21	0.01	0.01*	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
だいず (乾燥子実) 2003年	2	300 ^a + 200 ^p ×3	4 ^a 4 ^a 4 ^a	7 13~14 20~21	<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
だいず (乾燥子実) 2004年	2	300 ^a + 160-200 ^{sc} ×3	4 ^a 4 ^a 4 ^a	7 14 21	<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
だいず (乾燥子実) 2005年	2	300 ^a + 66.6-96 ^{sc} ×3	4 ^a 4 ^a 4 ^a 4 ^a	7 13 20~21 28	<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/	/	/
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
					<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
だいず* (乾燥子実) 2003年*	2	75-150 ^{so}	2 2	6-7 13-14 21	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/	/	
					<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/		
	2	0.4 ^{sc} g ai/kg(種子) 300 ^g 75-150 ^{so}	4 ^a 4 ^a 4 ^a	6-7 13-14 21	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/	/	
					<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/		
あずき (乾燥子実) 2004年	2	300 ^a + 120~240 ^{sp} ×3	4 ^a 4 ^a 4 ^a	7 14 21	0.09	0.05	/	/	/	/	/	/	/	/
					0.08	0.05	/	/	/	/	/	/		
					0.03	0.03	/	/	/	/	/	/		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)									
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
てんさい (根部) 2001年	2	1.6/冊	1 1 1	160-161 167-168 174-175	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	/	/	/	/	/	/	/	/
てんさい (根部) 2004年	2	0.9×10 ⁻³ g ai/種子 ^{SC}	1	184-199	<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/	/	/
てんさい* (根部) 2000年	2	2 g ai/冊 ^{SG}	1 1 1	150-156 157-163 164-170	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	/	/	/	/	/	/	/	/
さとうきび (茎) 2005年	2	300 ^G	1	259-302	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/	/	/
だいこん (根部) 1997年	2	300 ^G + 120~160 ^{SP} ×2	3 3	7 14	0.014 0.016	0.010* 0.010	/	/	/	/	/	/	/	/
だいこん* (根部) 2002年	2	3.0×10 ⁻³ g ai/種子 ^{WP}	1	66	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/	/	/
			1	73	<0.005	<0.005								
			1	80	<0.005	<0.005								
	2	3.0×10 ⁻³ g ai/種子 ^{WP} 300 ^G 75 ^{SG}	4 ^a	7	<0.005	<0.005								
			4 ^a 4 ^a 5 ^a 5 ^a 5 ^a	14 21 7 14 21	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005 <0.005								
だいこん* (根部) 2004年	2	2.0×10 ⁻³ g ai/種子 ^{WP} 300 ^G 75 ^{SG}	4 ^a 4 ^a 4 ^a 4 ^a	7 14 21 28	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005	/	/	/	/	/	/	/	/
だいこん (葉部) 1997年	2	300 ^G + 120~160 ^{SP} ×2	3 3	7 14	2.29 0.49	1.46 0.30	/	/	/	/	/	/	/	/
だいこん* (葉部) 2002年	2	3.0×10 ⁻³ g ai/種子 ^{WP}	1	66	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/	/	/
			1	73	0.006	0.005*								
			1	80	<0.005	<0.005								
	2	3.0×10 ⁻³ g ai/種子 ^{WP} 300 ^G 75 ^{SG}	4 ^a	7	0.254	0.229								
			4 ^a 4 ^a 5 ^a 5 ^a 5 ^a	14 21 7 14 21	0.204 0.110 0.138 0.078 0.061	0.195 0.099 0.122 0.074 0.056								
だいこん* (葉部) 2004年	2	2.0×10 ⁻³ g ai/種子 ^{WP} 300 ^G 75 ^{SG}	4 ^a 4 ^a 4 ^a 4 ^a	7 14 21 28	0.134 0.020 0.005 0.034	0.096 0.010* 0.005* 0.018*	/	/	/	/	/	/	/	/
だいこん (つまみ菜) 2001年	1	300 ^G	1	10	0.49	0.48	/	/	/	/	/	/	/	/
だいこん (間引き菜) 2001年	1	300 ^G	1	22	0.15	0.14	/	/	/	/	/	/	/	/
かぶ (根部) 2006年	2	300 ^G + 24~240 ^{SP} ×3	1	51~97	0.096	0.096	/	/	/	/	/	/	/	/
			4	3	0.173	0.172								
			4	7	0.197	0.195								
			4	14	0.131	0.127								
			4	21	0.098	0.096								
かぶ* (根部) 2006-2007年	2	300 ^G + 50~150 ^{SG} ×3	4 4 4	1 7 14	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	/	/	/	/	/	/	/	/

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)												
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG				
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
ブロッリー (花蕾) 2004年	2	0.01 g ai/株 ^a + 160 ^{SP} ×3	1	71~151	0.04	0.02											
			4 ^a	3	0.33	0.20											
			4 ^a	7	0.30	0.17											
			4 ^a	14	0.05	0.03											
ブロッリー* (花蕾) 2001年	2	0.01g ai/株 ^a	1	56~59	<0.005	<0.005											
			1	58~61	<0.005	<0.005											
			1	62~65	<0.005	<0.005											
	2	0.01g ai/株 ^a 100 ^{SP}	4	1	0.087	0.049											
			4	3	0.082	0.042											
			4	7	0.065	0.038											
			4	14	0.014	0.010*											
			4	14	0.014	0.010*											
しゅんぎく (茎葉) 2005年	2	300 ^a + 160~240 ^{SP} ×3	4	3 ^a	3.63	3.48											
			4	7 ^a	1.94	1.98											
			4	14	0.65	0.62											
しゅんぎく* (茎葉) 2006年	2	0.005 g ai/株 ^a + 300 ^{SP} ×3	4	3	0.243	0.240											
			4	7	0.217	0.216											
			4	14	0.098	0.098											
レタス (茎葉) 2002年	2	0.01 g ai/株 ^a + 160~240 ^{SP} ×2	1	52~66	0.27	0.16											
			3 ^a	3	1.34	0.92											
			3 ^a	7	1.05	0.69											
			3 ^a	14	0.27	0.22											
レタス* (茎葉) 2000年	2	0.005g ai/株 ^a 125~150 ^{SP}	3	7	0.021	0.015											
			3	14	0.025	0.015											
リーフレタス (茎葉) 2004年	2	0.01 g ai/株 ^a + 160~190 ^{SP} ×2	1	45~52	0.07	0.04*											
			3 ^a	3	8.15	6.85											
			3 ^a	7	3.87	2.26											
			3 ^a	14	0.30	0.18											
リーフレタス* (茎葉) 2004年	2	0.005g ai/株 ^a	1	61~62	<0.05	<0.05											
			1	65~66	<0.05	<0.05											
			1	72~73	<0.05	<0.05											
	2	0.005g ai/株 ^a 100~150 ^{SP}	3	7	0.10	0.08											
			3	14	0.07	0.06*											
			3	14	0.07	0.06*											
サラダ菜 (茎葉) 2004年	2	0.01 g ai/株 ^a + 120~160 ^{SP} ×2	1	32~41	1.02	0.57											
			3 ^a	3	10.4	6.86											
			3 ^a	7	4.73	3.75											
			3 ^a	14	1.02	0.88											
サラダ菜* (茎葉) 2004年	1	0.005g ai/株 ^a	1	42	<0.05	<0.05											
			1	46	<0.05	<0.05											
			1	53	<0.05	<0.05											
			1	59	<0.05	<0.05											
			1	63	<0.05	<0.05											
			1	70	<0.05	<0.05											
	2	0.005g ai/株 ^a 150 ^{SP}	3	7	0.10	0.10											
			3	14	0.09	0.08											
			3	14	0.09	0.08											
			3	14	0.09	0.08											
			3	14	0.09	0.08											
ねぎ (茎葉) 2001年	2	300 ^a ×5	5 ^a	3	0.14	0.07											
			5 ^a	7	0.13	0.08											
			5 ^a	14	0.10	0.05											
ねぎ (茎葉) 2001年	2	300 ^a + 120~160 ^{SP} ×4	5 ^a	3	0.14	0.09											
			5 ^a	7	0.12	0.06											
			5 ^a	14	0.02	0.02											
ねぎ* (茎葉) 2001年	2	45 ^a	1	69	0.023	0.018											
			1	77	0.014	0.014											
			1	84	0.006	0.006											
			1	117	0.022	0.016											
			1	124	0.008	0.006*											
			1	131	0.010	0.008*											
	2	45g ai/株 ^a 200 ^{SP}	4	3	0.078	0.051											
			4	6~7	0.054	0.039											
			4	14	0.032	0.024											
			4	21	0.017	0.012											
			4	21	0.017	0.012											

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)									
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
にら (茎葉) 2004年	2	160 ^{SP} ×3	3	3	6.18	3.40	/	/	/	/	/	/	/	
			3	7	4.97	2.16	/	/	/	/	/	/		
			3	14	2.37	1.00	/	/	/	/	/	/		
にら* (茎葉) 2006-2007年	3	300 ^a + 100~115 ^{so} ×3	4	1 ^a	1.17	1.16	/	/	/	/	/	/	/	
			4	7 ^a	0.97	0.96	/	/	/	/	/	/		
			4	14	0.68	0.67	/	/	/	/	/	/		
			4	21	0.20	0.20	/	/	/	/	/	/		
アスパカ ^s (若茎) 2004年	2	240 ^{SP} ×3	3	1	0.24	0.15	/	/	/	/	/	/	/	
			3	3	0.06	0.04	/	/	/	/	/	/		
			3	7	<0.01	<0.01	/	/	/	/	/	/		
アスパカ ^s * (若茎) 2006年	2	150 ^{so} ×3	3	1	0.014	0.014	/	/	/	/	/	/	/	
			3	3	0.007	0.006	/	/	/	/	/	/		
			3	7	<0.005	<0.005	/	/	/	/	/	/		
わけぎ (茎葉) 2005年	2	300 ^a ×5	5	3	0.13	0.13	/	/	/	/	/	/	/	
			5	7	0.11	0.11	/	/	/	/	/	/		
			5	14	0.11	0.10	/	/	/	/	/	/		
わけぎ (茎葉) 2005年	2	168~300 ^a ×5	5	3	2.06	2.02	/	/	/	/	/	/	/	
			5	7	0.20	0.20	/	/	/	/	/	/		
			5	14	0.10	0.10	/	/	/	/	/	/		
わけぎ* (茎葉) 2005年	2	450 ^a	1	23	0.06	0.06*	/	/	/	/	/	/	/	
			1	30	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	36	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	63	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	70	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	77	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			2	450 ^a 100-150 ^{so}	5 ^a	3	0.20	0.14	/	/	/	/	/	/
5 ^a	7	0.21	0.14	/	/	/	/	/	/					
5 ^a	14	0.14	0.10*	/	/	/	/	/	/					
あさつき (茎葉) 2005年	2	300 ^a ×5	5	3	0.70	0.68	/	/	/	/	/	/	/	
			5	7	0.97	0.96	/	/	/	/	/	/		
			5	14	0.84	0.83	/	/	/	/	/	/		
あさつき (茎葉) 2005年	2	300 ^a + 120 ^{SP} ×4	5	3	1.39	1.37	/	/	/	/	/	/	/	
			5	7	1.10	1.09	/	/	/	/	/	/		
			5	14	0.32	0.32	/	/	/	/	/	/		
あさつき* (可食部) 2006年	2	450 ^a	1	23	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/	/	
			1	30	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	36	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	46	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	53	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			1	60	<0.05	<0.05	/	/	/	/	/	/		
			2	450 ^a 75 ^{so}	5 ^a	3	0.18	0.12	/	/	/	/	/	/
5 ^a	7	0.14	0.10*	/	/	/	/	/	/					
5 ^a	14	0.18	0.12*	/	/	/	/	/	/					
らっきよ (鱗茎) 2004年	2	300 ^a ×2	2	21	<0.2	<0.2	/	/	/	/	/	/	/	
			2	30	<0.2	<0.2	/	/	/	/	/	/		
			2	60	<0.2	<0.2	/	/	/	/	/	/		
にんじん* (根部) 2004年	1	600 ^a	1	61	0.011	0.010	/	/	/	/	/	/	/	
			1	68	0.010	0.010	/	/	/	/	/	/		
			1	75	0.007	0.006	/	/	/	/	/	/		
	1	600 ^a	1	91	0.006	0.006	/	/	/	/	/	/	/	
			1	98	0.005	0.005	/	/	/	/	/	/		
			1	105	0.006	0.006	/	/	/	/	/	/		
	2	600 ^a 450 ^a	2	14	0.033	0.032	/	/	/	/	/	/	/	
2			28	0.022	0.022	/	/	/	/	/	/			
2			42	0.024	0.024	/	/	/	/	/	/			
2			56	0.025	0.025	/	/	/	/	/	/			
パセリ (茎葉) 2006年	2	80~100 ^a	1	14	7.61	7.44	/	/	/	/	/	/	/	
			1	21	1.71	1.70	/	/	/	/	/	/		
			1	28	0.37	0.36	/	/	/	/	/	/		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)											
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG			
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
にがうり (果実) 2005年	2	0.01 g ai/株 ^a + 144・200 ^{SP} ×3	4 ^a	1	0.28	0.22										
			4 ^a	3	0.14	0.12										
			4 ^a	7	0.16	0.11										
にがうり* (果実) 2004年	2	0.01g ai/株 ^a 50・101 ^{SD}	4 ^a	7	0.01	0.01*										
食用へちま (果実) 2004年	2	160・288 ^{SP} ×3	3	1	0.22	0.15										
			3	3	0.18	0.15										
			3	7	0.16	0.14										
食用へちま* (果実) 2005年	2	90・100 ^{SD}	3	1	<0.02	<0.02										
			3	3	<0.02	<0.02										
			3	7	<0.02	<0.02										
ほうれんそう (茎葉) 2005年	2	0.01 g ai/株 ^a + 160 ^{SP} ×3	4	1	8.72	8.69										
			4	3	27.3	27.0										
			4	7	23.3	23.2										
ほうれんそう* (茎葉) 2003年	2	75・150 ^{SD}	2	3	0.78	0.61										
			2	7	0.67	0.52										
			2	14	0.48	0.20										
	2	300 ^a 100・150 ^{SD}	3	3	1.21	0.84										
			3	7	0.74	0.60										
			3	14	0.45	0.27										
オクラ (果実) 2005年	2	300 ^a + 80・160 ^{SP} ×3	4 ^a	1	0.36	0.33										
			4 ^a	3	0.17	0.16										
			4 ^a	7	0.09	0.06										
オクラ* (果実、へた を除く) 2005年	2	75・105 ^{SD}	3	1	<0.01	<0.01										
			3	3	0.01	0.01*										
			3	7	<0.01	<0.01										
さやえんどう (さや) 2005年	2	300 ^a + 160~182 ^{SP} ×3	4	3	0.87	0.86										
			4	7	0.42	0.41										
			4	14	0.22	0.22										
未えんどう* (子実) 2006年	2	150 ^{SD}	3	1 ^a	0.040	0.040										
			3	3 ^a	0.026	0.026										
			3	7	<0.025	<0.025										
さやいんげん (さや) 2005年	2	300 ^a + 120~200 ^{SP} ×3	4	1 ^a	0.42	0.41										
			4	3	0.34	0.34										
			4	7	0.10	0.10										
未成熟 いんげん* (さや) 2001年	2	50・100 ^{SD}	3	1	0.119	0.090										
			3	7	0.051	0.043										
			3	14	0.013	0.010										
えだまめ (さや) 2004年	2	300 ^a + 160~240 ^{SP} ×3	4 ^a	3	0.69	0.69										
			4 ^a	7	0.18	0.18										
			4 ^a	14	0.04	0.04										
えだまめ (さや) 2006年	2	300 ^a + 200~250 ^D ×3	4	1	0.48	0.47										
			4	7	0.04	0.04										
			4	14	<0.01	<0.01										
えだまめ* (さや) 2003年	2	100・200 ^{SD}	2	7	0.022	0.018										
			2	14	0.012	0.008*										
			2	21	<0.005	<0.005										
	2	0.4g ai/kg(種子) ^{SC} 300 ^a 100・200 ^{SD}	4 ^a	7	0.029	0.023										
			4 ^a	14	0.017	0.010*										
			4 ^a	21	0.008	0.006										

作物名 実施年	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)										
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
	2	250・500 ^{WDG}	3 3 3 3	14 21 28 35	0.37 0.31 0.29 0.24	0.29 0.26 0.23 0.21									
夏みかん (果肉) 1998年	2	400 ^{SP} ×3	3 3 3	7 14 21	0.298 0.299 0.158	0.087 0.093 0.051*	0.016 0.010 0.011	0.006* 0.005* 0.004*	<0.003 <0.003 <0.003	<0.003 <0.003 <0.003	<0.005 <0.005 <0.005	<0.004 <0.004 <0.004	0.007 0.007 <0.007	0.005* 0.005* <0.005	
夏みかん* (果肉) 1998年	2	250 ^{SG}	3 3 3 3 3 2 2 2 2	14 28 42 49 60・64 28 42 49 60・64	0.007 0.005 0.009 0.008 0.010 0.005 <0.005 <0.005 <0.005	0.006* 0.005 0.007 0.006 0.007 0.005* <0.005 <0.005 <0.005									
夏みかん (果皮) 1998年	2	400 ^{SP} ×3	3 3 3	7 14 21	1.91 2.18 1.78	1.04 1.11 0.90	0.005 0.008 0.006	0.004 0.005 0.004	0.026 0.018 0.053	0.016 0.013 0.027	0.034 0.035 0.036	0.022 0.019 0.020	0.010 0.009 0.012	0.008* 0.006* 0.008*	
夏みかん* (果皮) 1998年	2	250 ^{SG}	3 3 3 3 3 2 2 2 2	14 28 42 49 60・64 28 42 49 60・64	0.13 0.12 0.13 0.14 0.11 0.07 0.08 0.06 0.08	0.09 0.11 0.10 0.12 0.09 0.05 0.06 0.04 0.04									
夏みかん (全果実) 1998年	2	400 ^{SP} ×3	3 3 3	7 14 21	0.713 0.770 0.552	0.370 0.396 0.302									
夏みかん* (全果実) 2004年	2	300・612 ^{SG}	3 3 3 3	14 21 28 45	0.01 0.03 0.02 0.03	0.01* 0.02 0.02 0.03									
すだち (果実) 1998年	1	400 ^{SP} ×3	3 3 3	7 14 21	0.316 0.220 0.211	0.297 0.219 0.210	0.035 0.028 0.023	0.034 0.023 0.021	0.011 0.005 0.004	0.010 0.005 0.004	0.034 0.032 0.017	0.034 0.030 0.017	0.022 0.010 <0.007	0.016 0.007 <0.007	
すだち* (果実) 1998年	1	250 ^{SG}	3 3 3	14 28 42	0.038 0.032 0.020	0.038 0.032 0.020									
すだち* (果実) 2004年	1	250 ^{SG}	3 3 3 3	14 21 28 45	0.07 0.06 0.06 0.05	0.06 0.06 0.06 0.05									
かぼす (果実) 1998年	1	400 ^{SP} ×3	3 3 3	7 14 21	0.218 0.165 0.156	0.204 0.164 0.155	0.008 0.007 0.006	0.008 0.006 0.006	<0.003 <0.003 <0.003	<0.003 <0.003 <0.003	0.011 0.011 0.013	0.011 0.008 0.013	<0.007 <0.007 <0.007	<0.007 <0.007 <0.007	
かぼす* (果実) 1998年	1	250 ^{SG}	3 3 3	14 28 42	0.010 0.009 0.006	0.010 0.009 0.006									
かぼす* (果実) 2004年	1	250 ^{SG}	3 3 3 3	14 21 28 45	0.02 0.02 0.02 0.02	0.02 0.02 0.02 0.02									
ゆず* (果実) 1998年	1	250 ^{SG}	3 3 3	14 28 42	0.063 0.053 0.048	0.063 0.053 0.048									

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)										
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
りんご (果実) 1998年	2	400 ^{SP} ×3	3	7	0.166	0.089	0.003	0.002*	0.023	0.010	0.012	0.008	0.015	0.006	
			3	14	0.070	0.043	0.003	0.002*	0.011	0.007*	0.013	0.008	0.010	0.004*	
			3	21	0.081	0.036*	0.003	0.002*	0.008	0.006	0.013	0.008*	0.006	0.004*	
りんご (果実) 2005年	2	280-320 ^{SP} ×3	3	1	0.15	0.10									
			3	3	0.06	0.05									
			3	7	0.05	0.04									
りんご* (果実) 2000-2002年	2	250-350 ^{SG}	2	7	0.010	0.007*									
			2	14	0.005	0.005*									
			2	21	0.007	0.006*									
			2	28	<0.005	<0.005									
	2	250-350 ^{WDO}	2	7	<0.005	<0.005									
			2	14	<0.005	<0.005									
なし (果実) 2001年	2	240~400 ^{SP} ×3	3	1	0.39	0.24									
			3	6-7	0.28	0.16									
			3	13-14	0.13	0.11									
			3	1	0.03	0.02*									
			3	3	0.03	0.02*									
			3	7	0.03	0.02*									
なし* (果実) 1999-2003年	4	150-200 ^{SG}	3	14	0.04	0.02*									
			3	21	0.017	0.015									
			3	28	0.014	0.011									
			4*	12	0.008	0.006*									
			4*	19	0.016	0.010*									
			3	7	0.125	0.097	0.009	0.004	0.010	0.004*	0.008	0.006	0.006	0.006	0.004*
			3	14	0.125	0.093	0.009	0.005	0.006	0.003*	0.008	0.006*	0.006	0.006	0.004*
もも (無袋) (果実) 1998,1999年	2	320 ^{SP} ×3	3	21	0.107	0.068	0.008	0.004*	0.007	0.004*	0.008	0.006*	0.006	0.004*	
			3	14	0.068	0.054									
			3	17-21	0.081	0.045									
もも* (果実) 1998-2003年	2	175-200 ^{SG}	3	24-28	0.081	0.049									
			3	30	<0.02	<0.02									
	2	100 g ai/樹 [□]	3	1	0.10	0.06									
			3	3	0.08	0.06									
もも (無袋) (果 肉) 2007年	2	320~400 ^{SP} ×3	3	7	0.22	0.22									
			3	14	0.15	0.15									
			3	35	0.13	0.13									
もも (無袋) (果 肉) 2004年	1	400 ^{SP} ×3	3	1*	0.27	0.26									
			3	3	0.28	0.28									
			3	7	0.30	0.30									
			3	3	0.27	0.19	0.02	0.02*	0.05	0.03	0.06	0.03	0.05	0.03*	
もも (無袋) (果皮) 1998,1999年	2	320 ^{SP} ×3	3	14	0.98	0.65	0.02	0.01*	0.03	0.02*	<0.03	<0.02	0.05	0.02	
			3	21	0.64	0.50	0.02	0.01*	0.04	0.02*	<0.03	<0.02	0.04	0.02*	
			3	14	0.27	0.19									
もも* (果皮) 1998-2003年	2	175-200 ^{SG}	3	17-21	0.26	0.15									
			3	24-28	0.19	0.12									
			3	30	<0.1	<0.1									
	2	100 g ai/樹 [□] 200-250 ^{SG}	3	1	0.61	0.42									
			3	3	0.50	0.42									
			3	7	0.54	0.40									
			3	14	0.40	0.35									

作物名 実施年	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)									
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
もも (無袋) (果 皮) 2007年	2	320~400 ^{SP} × 3	3	1 ^a	2.84	2.78								
			3	7	2.49	2.48								
			3	14	1.17	1.16								
			3	35	0.60	0.60								
もも (無袋) (果 皮) 2004年	1	400 ^{SP} × 3	3	1 ^a	5.27	5.24								
			3	3	5.89	5.88								
			3	7	2.97	2.96								
			3	3										
ネクタリン (果実) 2004年	2	320~400 ^{SP} × 3	3	3	0.69	0.60								
			3	7	0.59	0.38								
			3	14	0.44	0.29								
あんず (果実) 2004年	2	400~445 ^{SP} × 3	3 ^a	3	1.08	0.82								
			3 ^a	7	0.72	0.52								
			3 ^a	14	0.47	0.27								
すもも (果実) 2004年	2	320~400 ^{SP} × 3	3	3	0.06	0.04								
			3	7	0.10	0.05								
			3	14	0.07	0.03								
すもも* (果実) 2006年	2	150-250 ^{SD}	3	7	<0.02	<0.02								
			3	14	<0.02	<0.02								
うめ (果実) 2001年	2	400~620 ^{SP} × 3	3	7	1.15	1.02								
			3	14	1.10	0.62								
			3	21	0.62	0.44								
			3	28	0.61	0.31								
うめ (果実) 2006年	2	400~560 ^{SP} × 3	3	1	1.38	1.32								
			3	3	1.05	1.02								
			3	7	0.88	0.86								
			3	14	0.67	0.66								
うめ* (果実) 2000年	2	200-300 ^{SD}	2	7	0.190	0.134								
			2	14	0.185	0.140								
			2	21	0.245	0.121								
おうとう (果実) 2003年	2	400~500 ^{SP} × 2	2	1	1.97	1.25								
			2	3	1.52	1.14								
			2	7	1.27	1.00								
			2	14	1.03	0.72								
おうとう* (果実) 2003年	2	250 ^{SD}	2	1	0.08	0.06*								
			2	3	0.10	0.06*								
			2	7	0.13	0.09*								
			2	14	0.14	0.10								
いちご (果実) 2003年	1	0.01 g ai/株 [□]	1	97	0.23	0.22								
			1	104	0.21	0.20								
いちご (果実) 2003年	1	0.01 g ai/株 [□]	1	62	0.07	0.06								
			1	69	0.04	0.04*								
いちご* (果実) 2000年	2	0.01g ai/株 [□]	1	92	<0.005	<0.005								
			1	99	<0.005	<0.005								
			1	106	<0.005	<0.005								
			1	115	<0.005	<0.005								
			1	125	<0.005	<0.005								
			1	132	<0.005	<0.005								
			1	139	<0.005	<0.005								
ブルーベリー (果実) 2008年	2	240 ^{SP} × 3	3	1 ^a	0.15	0.15								
			3	7 ^a	0.10	0.10								
			3	14 ^a	0.07	0.07								
			3	28 ^a	0.09	0.09								
			3	42	0.02	0.02								
			3	42	0.02	0.02								

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回 数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)									
					クロチアニジン		TZNG		TZMU		MNG		TMG	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
茶 (浸出液) 1999,2001年	3	320 ^{SP}	1	7	36.7	15.8	0.131	0.99	0.93	0.59	0.44	0.23	0.17	0.14*
			1	14	8.31	3.88	0.167	0.89	0.95	0.66	0.33	0.16*	0.37	0.21*
			1	21	3.19	1.32	0.092	0.42*	0.61	0.31	0.19	0.09*	0.32	0.14*
茶* (浸出液) 1998・2002年	2	100 ^{SG}	1	7	0.23	0.14	/	/	/	/	/	/	/	/
			1	14	0.09	0.07	/	/	/	/	/	/	/	/
			1	21	0.05	0.05	/	/	/	/	/	/	/	/
飼料用稲 (植物体全体) 2005年	2	72~140 ^G 66~78 ^{SC} ×3	4	14	0.55	0.54	/	/	/	/	/	/	/	/
			4	21	0.21	0.20	/	/	/	/	/	/	/	/
			4	26~28	0.12	0.05	/	/	/	/	/	/	/	/
飼料用稲 (植物体全体) 2005年	2	72~140 ^G 60 ^{SC} ×3	4	14	0.38	0.38	/	/	/	/	/	/	/	/
			4	21	0.22	0.22	/	/	/	/	/	/	/	/
			4	26~28	0.09	0.09	/	/	/	/	/	/	/	/
飼料用とうも ろこし* (育刈り) 2010年	2	1.8 ^{SC} g ai/kg(種子)	1	83~101	<0.004	<0.004	/	/	/	/	/	/	/	/

注) ai:有効成分量、PHI:最終使用から収穫間隔までの日数

D:粉剤、G:粒剤、SP:水溶剤、SG:顆粒水溶剤、WP:水和剤、WDG:顆粒水和剤、SC:フロアブル

- ・作物名に*を付したものは、チアメトキサムの作物残留試験におけるクロチアニジン残留値を示す。またその場合、使用量は農薬チアメトキサムの使用量を示す。
- ・農薬の作物名、使用回数及び使用時期 (PHI) が、登録又は申請された使用方法から逸脱している場合は、作物名、回数又は PHI に*を付した。
- ・全データが定量限界未満の平均値を算出する場合は定量限界を平均し、<を付した。
- ・複数の試験機関で、定量限界が異なる場合の最高値は、大きい値を示した (例えば A 機関で 0.006 検出され、B 機関で <0.008 の場合、<0.008 とした)。
- ・一部に定量限界未満 (例えば <0.01) を含むデータの平均値は定量限界 (例えば 0.01) を検出したものとして計算し、*を付した。

<別紙4：推定摂取量>

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均		小児 (1~6歳)		妊婦		高齢者 (65歳以上)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)
水稲	0.295	185.1	54.60	97.7	28.82	139.7	41.21	188.8	55.70
トウモロコシ	0.01	2.5	0.03	4.3	0.04	2.7	0.03	0.8	0.01
大豆	0.01	56.1	0.56	33.7	0.34	45.5	0.46	58.8	0.59
小豆	0.075	1.4	0.11	0.5	0.04	0.1	0.01	2.7	0.20
ばれいしょ	0.03	36.6	1.10	21.3	0.64	39.8	1.19	27.0	0.81
だいこん (根)	0.01	45.0	0.45	18.7	0.19	28.7	0.29	58.5	0.59
だいこん (葉)	1.689	2.2	3.27	0.5	0.84	0.9	1.52	3.4	5.74
かぶ類 (根)	0.195	2.6	0.51	0.7	0.14	0.7	0.14	4.2	0.82
かぶ類 (葉)	27.95	0.5	13.98	0.1	2.80	0.3	38.39	1.1	30.75
はくさい	0.953	29.4	28.02	10.3	9.82	21.9	20.87	31.7	30.21
キャベツ	0.132	22.8	3.01	9.8	1.29	22.9	3.02	19.9	2.63
こまつな	3.896	4.3	16.75	2.0	7.79	1.6	6.23	5.9	22.99
きょうな	1.89	0.3	0.57	0.1	0.19	0.1	0.19	0.3	0.57
フグンサイ	0.67	1.4	0.94	0.3	0.20	1.0	0.67	1.9	1.27
ブロッコリー	0.249	4.5	1.12	2.8	0.70	4.7	1.17	4.1	1.02
その他の アブラ科野菜	0.67	2.1	1.41	0.3	0.20	0.2	0.13	3.1	2.08
しゅんぎく	3.72	2.5	9.30	0.6	2.23	1.9	7.07	3.7	13.76
レタス	6.96	6.1	42.46	2.5	17.40	6.4	44.54	4.2	29.23
ねぎ	0.141	11.3	1.59	4.5	0.63	8.2	1.16	13.5	1.90
にら	4.07	1.6	6.51	0.7	2.85	0.7	2.85	1.6	6.51
アスパラガス	0.164	0.9	0.15	0.3	0.05	0.4	0.07	0.7	0.11
わけぎ	2.16	0.2	0.43	0.1	0.22	0.1	0.22	0.3	0.65
にんじん	0.01	24.6	0.25	16.3	0.16	25.1	0.25	22.3	0.22
パセリ	7.44	0.1	0.74	0.1	0.74	0.1	0.74	0.1	0.74
セロリ	3.9	0.4	1.56	0.1	0.39	0.3	1.17	0.4	1.56
みつば	10.5	0.2	2.10	0.1	1.05	0.1	1.05	0.2	2.10
トマト	1.07	24.3	26.00	16.9	18.08	24.5	26.22	18.9	20.22

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均		小児 (1~6歳)		妊婦		高齢者 (65歳以上)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)
ピーマン	1.06	4.4	4.66	2.0	2.12	1.9	2.01	3.7	3.92
なす	0.307	4.0	1.23	0.9	0.28	3.3	1.01	5.7	1.75
その他の なす科野菜	2.99	0.2	0.60	0.1	0.30	0.1	0.30	0.3	0.90
きゅうり	0.418	16.3	6.81	8.2	3.43	10.1	4.22	16.6	6.94
かぼちゃ	0.08	9.4	0.75	5.8	0.46	6.9	0.55	11.5	0.92
スイカ	0.016	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
メロン類	0.032	0.4	0.01	0.3	0.01	0.1	0.00	0.3	0.01
その他の うり科野菜	0.23	0.5	0.12	0.1	0.02	2.3	0.53	0.7	0.16
ほうれん そう	27.84	18.7	520.61	10.1	281.18	17.4	484.42	21.7	604.13
オクラ	0.34	0.3	0.10	0.2	0.07	0.2	0.07	0.3	0.10
未成熟 えんどう	0.86	0.6	0.52	0.2	0.17	0.7	0.60	0.6	0.52
未成熟 いんげん	0.43	1.9	0.82	1.2	0.52	1.8	0.77	1.8	0.77
えだまめ	0.713	0.1	0.07	0.1	0.07	0.1	0.07	0.1	0.07
その他の 野菜	0.43	12.6	5.42	9.7	4.17	9.6	4.13	12.2	5.25
みかん	0.131	41.6	5.45	35.4	4.64	45.8	6.00	42.6	5.58
夏みかん (果肉)	0.1	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01
夏みかん (果皮)	1.23	0.1	0.12	0.1	0.12	0.1	0.12	0.1	0.12
夏みかん (全果実)	0.426	0.1	0.04	0.1	0.04	0.1	0.04	0.1	0.04
その他の かんきつ	0.357	0.4	0.14	0.1	0.04	0.1	0.04	0.6	0.21
りんご	0.096	35.3	3.39	36.2	3.48	30	2.88	35.6	3.42
日本なし	0.26	5.1	1.33	4.4	1.14	5.3	1.38	5.1	1.33
西洋なし	0.26	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03
もも	0.38	0.5	0.19	0.7	0.27	4	1.52	0.1	0.04
初刈り	0.60	0.1	0.06	0.1	0.06	0.1	0.06	0.1	0.06

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均		小児 (1~6歳)		妊婦		高齢者 (65歳以上)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μ g/人/日)
あんず	0.82	0.1	0.08	0.1	0.08	0.1	0.08	0.1	0.08
すもも	0.05	0.2	0.01	0.1	0.01	1.4	0.07	0.2	0.01
うめ	1.46	1.1	1.61	0.3	0.44	1.4	2.04	1.6	2.34
おうとう	1.34	0.1	0.13	0.1	0.13	0.1	0.13	0.1	0.13
いちご	0.228	0.3	0.07	0.4	0.09	0.1	0.02	0.1	0.02
ブルーベリー	0.15	0.1	0.02	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
ぶどう	1.497	5.8	8.68	4.4	6.59	1.6	2.40	3.8	5.69
かき	0.122	31.4	3.83	8.0	0.98	21.5	2.62	49.6	6.05
キウイ	0.008	1.8	0.01	1.3	0.01	1.1	0.01	2	0.02
パパイヤ	0.16	0.1	0.02	0.1	0.02	0.1	0.02	0.1	0.02
マンゴー	0.09	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01
その他の 果実	0.27	3.9	1.05	5.9	1.59	1.4	0.38	1.7	0.46
茶	15.98	3.0	47.88	1.4	22.34	3.5	55.86	4.3	68.63
みかんの 皮	1.86	0.1	0.19	0.1	0.19	0.1	0.19	0.1	0.19
その他の ハーブ	1.37	0.1	0.14	0.1	0.14	0.1	0.14	0.1	0.14
合計			834.15		433.09		745.59		953.05

- 注) ・残留値は、申請されている使用時期・使用回数による各試験区の平均残留値のうち最大のものをを用いた (参照 別紙3)
- ・残留値は、クロチアニジンの残留値にチアマトキサム由来のクロチアニジンの残留値を加えた値を用いた (参照 別紙3)
 - ・「ff」：平成10年~12年の国民栄養調査 (参照 100~102) の結果に基づく農産物摂取量 (g/人/日)
 - ・「摂取量」：残留値及び農産物摂取量から求めたクロチアニジンの推定摂取量 (μ g/人/日)
 - ・さといも、かんしょ、やまいも、こんにゃく、てんさい、さとうきび、バナナ、グアバについては、全データが定量限界未満であったため摂取量の計算はしていない。
 - ・『あずき』については、あずき、いんげんまめのうち、残留値の高いあずきの値を用いた
 - ・『きょうな』については、みずなの値を用いた
 - ・『その他のアブラ科野菜』については、チンゲンサイの値を用いた
 - ・『レタス』については、レタス、リーフレタス、サラダ菜のうち、残留値の最も高いサラダ菜の値を用いた
 - ・『その他のゆり科野菜』については、あさつきの値を用いた
 - ・『トマト』については、トマト、ミニトマトのうち、残留値の高いミニトマトの値を用いた
 - ・『その他のなす科野菜』については、ししとう、とうがらしのうち、残留値の高いししとうの値を用いた

- ・『その他のうり科野菜』については、とうがん、にがうり、食用へちまのうち、残留値の高いにがうりの値を用いた
- ・『その他の野菜』については、れんこん、みょうが、エンサイ、うこぎ、モロヘイヤ、セージのうち、残留値の最も高いモロヘイヤの値を用いた
- ・『その他のかんきつ』については、すだち、かぼす、ゆずのうち、残留値の高いすだちの値を用いた
- ・『その他の果実』については、アセロラ、いちじくのうち、残留値の高いいちじくの値を用いた
- ・『その他のハーブ』については、あさつきの値を用いた

<参照>

- 1 農薬抄録クロチアニジン（殺虫剤）（平成 16 年 9 月 14 日改訂）：住化武田農薬株式会社、2004 年、一部公表
- 2 クロチアニジンのラットにおける吸収、分布及び排泄性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 3 クロチアニジンのラットにおける代謝試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 4 クロチアニジンの安全性評価資料の追加提出について：住化武田農薬株式会社、2001 年、未公表
- 5 クロチアニジンのイネにおける代謝分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 6 クロチアニジンのトマトにおける代謝分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 7 クロチアニジンのチャにおける代謝分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 8 クロチアニジンの土壌中における分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 9 クロチアニジンの土壌表面における光分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 10 クロチアニジンの土壌中における吸着性及び移行性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 11 クロチアニジンの加水分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 12 クロチアニジンの水中光分解性試験：武田薬品工業株式会社、2000 年、未公表
- 13 土壌残留性試験水田状態圃場試験：武田薬品工業株式会社、1999 年、未公表
- 14 土壌残留性試験水田状態圃場試験：武田薬品工業株式会社、2001 年、未公表
- 15 土壌残留性試験畑地状態圃場試験：武田薬品工業株式会社、1999～2000 年、未公表
- 16 土壌残留性試験水田状態容器内試験：武田薬品工業株式会社、1999 年、未公表
- 17 土壌残留性試験水田状態容器内試験：武田薬品工業株式会社、2001 年、未公表
- 18 土壌残留性試験畑地状態容器内試験：武田薬品工業株式会社、1999～2000 年、未公表
- 19 クロチアニジンの作物残留試験成績：日本食品分析センター、2004 年、未公表
- 20 クロチアニジンの作物残留試験成績：武田薬品工業株式会社、2004 年、未公表
- 21 クロチアニジンの乳汁への移行分析試験：武田薬品工業株式会社、2002 年、未公表
- 22 クロチアニジンにおける薬理試験（GLP 対応）：（株）三菱化学安全科学研究所、2000 年、未公表
- 23 クロチアニジンのラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：Covance Laboratories（英国）、1997 年、未公表
- 24 クロチアニジンのマウスを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：Covance Laboratories（英国）、1997 年、未公表
- 25 クロチアニジンのラットを用いた急性経皮毒性試験（GLP 対応）：Covance Laboratories（英国）、1997 年、未公表
- 26 クロチアニジンのラットを用いた急性吸入毒性試験（GLP 対応）：Covance Laboratories（英国）、1998 年、未公表
- 27 TZNG のラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：Covance Laboratories（英国）、

- 1999年、未公表
- 28 TZMU のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 29 TMG のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 30 MG のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 31 MAI のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 32 クロチアニジンのラットを用いた急性神経毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 33 クロチアニジンのラットを用いた急性神経毒性試験 (追加試験) (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 34 クロチアニジンのウサギを用いた眼一次刺激性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 35 クロチアニジンのウサギを用いた皮膚一次刺激性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 36 クロチアニジンのモルモットにおける皮膚感作性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 37 クロチアニジンのラットを用いた3ヶ月混餌投与亜急性毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 38 クロチアニジンの安全性評価資料の追加提出について : 住化武田農薬株式会社、2001年、未公表
- 39 クロチアニジンのイヌを用いた3ヶ月間混餌投与亜急性毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Vienna (米国)、2000年、未公表
- 40 クロチアニジンのラットを用いた90日間反復経口投与神経毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation、2000年、未公表
- 41 クロチアニジンのイヌを用いた12ヶ月間混餌投与による慢性毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Vienna (米国)、2000年、未公表
- 42 クロチアニジンのラットを用いた24ヶ月間混餌投与による慢性毒性・発がん性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Madison (米国)、2000年、未公表
- 43 クロチアニジンのマウスを用いた18ヶ月間混餌投与による発がん性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Madison (米国)、2000年、未公表
- 44 クロチアニジンのラットを用いた2世代繁殖試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 45 クロチアニジンのラットにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories (米国)、1998年、未公表
- 46 クロチアニジンのウサギにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories (米国)、1998年、未公表

- 47 クロチアニジンの細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Bayer AG (独国) 1999 年、未公表
- 48 クロチアニジンのチャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79) を用いた HPRT 遺伝子座突然変異試験 (V79-HPRT 試験) (GLP 対応) : Bayer AG (独国)、1999 年、未公表
- 49 クロチアニジンのチャイニーズハムスター肺 CHL 細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験 (GLP 対応) : Safeparm Laboratories (英国)、2000 年、未公表
- 50 クロチアニジンのマウスを用いた *in vivo* 染色体異常試験 (GLP 対応) : Safeparm Laboratories (英国)、2000 年、未公表
- 51 クロチアニジンのラット肝細胞を用いた *in vivo* 不定期 DNA 合成(UDS)試験 (GLP 対応) : Bayer AG (独国)、1999 年、未公表
- 52 TZNG の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 53 TZMU の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 54 TMG の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 55 MG の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 56 MAI の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 57 作物残留及び水質汚濁に係る農薬の登録保留基準値の設定等に関する中央環境審議会土壌農薬部会報告について : 環境省平成 14 年 3 月 20 日発表資料
- 58 食品健康影響評価について (平成 16 年 10 月 5 日付け厚生労働省発食安第 1005002 号)
- 59 食品健康影響評価の結果の通知について (平成 17 年 1 月 27 日付、府食第 90 号)
- 60 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 10 月 25 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 470 号)
- 61 農薬抄録クロチアニジン (殺虫剤) 改訂版 : 住化武田農薬株式会社、2005 年、一部公表
- 62 クロチアニジンの作物残留性試験成績 : 住化武田農薬株式会社、2004~2005 年、未公表
- 63 食品健康影響評価について (平成 17 年 10 月 4 日付け厚生労働省発食安第 1004001 号)
- 64 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生労働省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号)
- 65 食品健康影響評価について (平成 18 年 7 月 18 日付け厚生労働省発食安第 0718028 号)
- 66 暫定基準を設定した農薬等に係る食品安全基本法第 24 条第 2 項の規定に基づく食品健康影響評価について
- 67 食品健康影響評価の結果の通知について (平成 18 年 12 月 7 日付、府食第 987 号)
- 68 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 19 年 5 月 31 日付、平成 19 年厚生労働省告示第 206 号)
- 69 農薬抄録クロチアニジン (殺虫剤) 改訂版 : 住化武田農薬株式会社、2008 年、一部公表
- 70 食品健康影響評価について (平成 20 年 1 月 11 日付け厚生労働省発食安第 0111003 号)

- 71 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改正する件（平成 21 年 7 月 2 日付、平成 21 年厚生労働省告示第 346 号）
- 72 農薬抄録クロチアニジン（殺虫剤）改訂版：住化武田農薬株式会社、2010 年、一部公表予定
- 73 Ames 試験（GLP 対応）：Safepharma、2000 年、未公表
- 74 TA1535 株の Ames 試験（GLP 対応）、BayerAG、1991 年、未公表
- 75 V79/HPRT 試験（GLP 対応）、RCC、1991 年、未公表
- 76 V79/TK 試験（GLP 対応）、RCC、1991 年、未公表
- 77 染色体異常試験（GLP 対応）、RCC、2003 年、未公表
- 78 小核試験（GLP 対応）、RCC、2003 年、未公表
- 79 UDS 試験（GLP 対応）、RCC、2003 年、未公表
- 80 発達神経毒性試験（GLP 対応）、Argus、2000 年、未公表
- 81 免疫毒性試験（GLP 対応）、CR-DDS、2004 年、未公表
- 82 発達免疫毒性試験（GLP 対応）、Charles River、2008 年、未公表
- 83 代謝物(ATMG-Pyr)；ラット急性経口（GLP 対応）、CovanceUK、2000 年、未公表
- 84 代謝物(ATMG-Pyr)；Ames 試験（GLP 対応）、CovanceUK、2000 年、未公表
- 85 代謝物(ATG-Ac)；ラット急性経口（GLP 対応）、CovanceUK、2000 年、未公表
- 86 代謝物(ATG-Ac)；Ames 試験（GLP 対応）、CovanceUK、2000 年、未公表
- 87 ラット動物代謝試験（GLP 対応）、BayerAG、2000 年、未公表
- 88 マウス動物代謝試験、武田薬品工業、2000 年、未公表
- 89 乳牛を用いた家畜残留試験（GLP 対応）、BayerAG、2001 年、未公表
- 90 ヤギを用いた家畜代謝試験（GLP 対応）、BayerAG、2000 年、未公表
- 91 鶏を用いた家畜代謝試験（GLP 対応）、BayerAG、2000 年、未公表
- 92 リンゴ（果実）を用いた植物代謝試験（GLP 対応）、BayerAG、1999 年、未公表
- 93 リンゴ（葉）を用いた植物代謝試験（GLP 対応）、BayerAG、1999 年、未公表
- 94 てんさいを用いた植物代謝試験（GLP 対応）、HuntingdonLifeSciences、2000 年、未公表
- 95 [ニトロイミノ-14C]クロチアニジン：とうもろこしを用いた植物代謝試験、BayerAG、2000 年、未公表
- 96 [チアゾール-2-14C]クロチアニジン：とうもろこしを用いた植物代謝試験、BayerAG、2000 年、未公表
- 97 クロチアニジンの作物残留試験（さやいんげん、他）、住友化学、2000 年、未公表
- 98 食品健康影響評価について（平成 23 年 6 月 8 日付け厚生労働省発食安 0608 第 2 号）
- 99 チアメトキサム（殺虫剤）改訂版：シンジェンタ ジャパン株式会社、2010 年、一部公表予定
- 100 国民栄養の現状－平成 10 年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2000 年
- 101 国民栄養の現状－平成 11 年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2001 年
- 102 国民栄養の現状－平成 12 年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2002 年